

JIS

陶磁器，耐火物などの焼成用 トンネル窯の熱勘定方式

JIS R 0301 -1991

(2007 確認)

平成 3 年 10 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 34. 2. 17 改正：平成 3. 10. 1 確認：平成 9. 3. 20

官 報 公 示：平成 9. 3. 21

原案作成協力者：社団法人 日本セラミックス協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 窯業部会（部会長 鈴木 弘茂）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

陶磁器，耐火物などの焼成用
トンネル窯の熱勘定方式R 0301-1991
(1997 確認)

Heat balancing of pottery and refractory firing tunnel kiln

1. 適用範囲 この規格は，陶磁器，耐火物などの焼成用トンネル窯のうち，液体燃料又は気体燃料だけのものの熱勘定方式について規定する。

備考1. 上記の適用範囲のほか，炭素製品，研削といし，その他の窯業製品についてもこの規格を適用することができる。

2. この規格の引用規格を，次に示す。

JIS K 2249 原油及び石油製品の密度試験方法並びに密度・質量・容量換算表

JIS K 2251 原油及び石油製品一試料採取方法

JIS K 2270 原油及び石油製品一残留炭素分試験方法

JIS K 2272 原油及び石油製品の灰分並びに硫酸灰分試験方法

JIS K 2275 原油及び石油製品水分試験方法

JIS K 2279 原油及び燃料油発熱量試験方法

JIS K 2301 燃料ガス及び天然ガスの分析・試験方法

JIS K 2541 原油及び石油製品硫黄分試験方法

3. この規格の中で { } を付けて示してある単位及び数値は，従来単位によるものであって，参考として併記したものである。

2. 基準

2.1 熱勘定は，窯の正常運転時の運転結果による。

2.2 熱勘定は，窯出し焼成品1 t 当たりについて行う。

2.3 熱勘定は，常温(外気温度)を基準とし，燃料の発熱量は，使用時における低発熱量を用いる。

3. 記録・測定

3.1 窯に関する記録 窯に関する記録は，次のとおりとする。

(1) 種類及び形式

(2) 大きさ⁽¹⁾ (長さ，幅及び高さ)

(3) 有効断面積

(4) 各部 (予熱帯，焼成帯，冷却帯，出入口のとびら，窯外ダクト及びファン) の表面積

(5) 窯内における台車数及びそれらの全床面積

(6) バーナーの形式，容量及び本数

(7) 通風方式

(8) 排熱利用設備の種類，形式及び容量

(9) 履歴